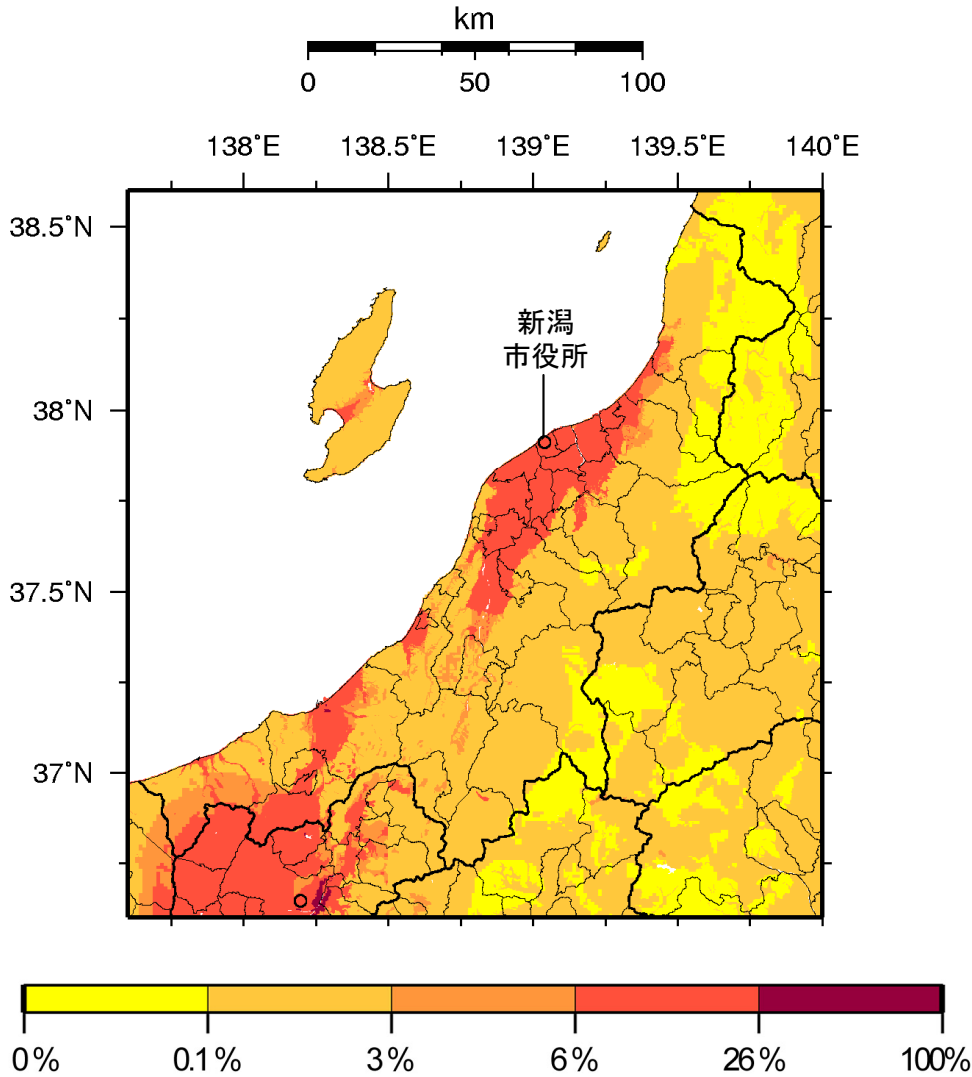


# 新潟県



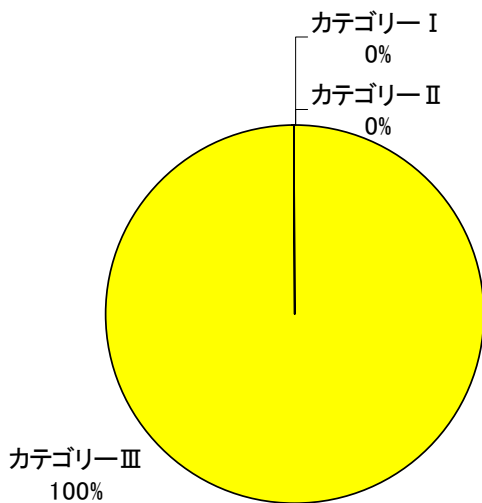
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

越後山脈などの山地や丘陵に比べると、日本海沿岸の平野（越後平野、高田平野、国中平野など）や山間の盆地、河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

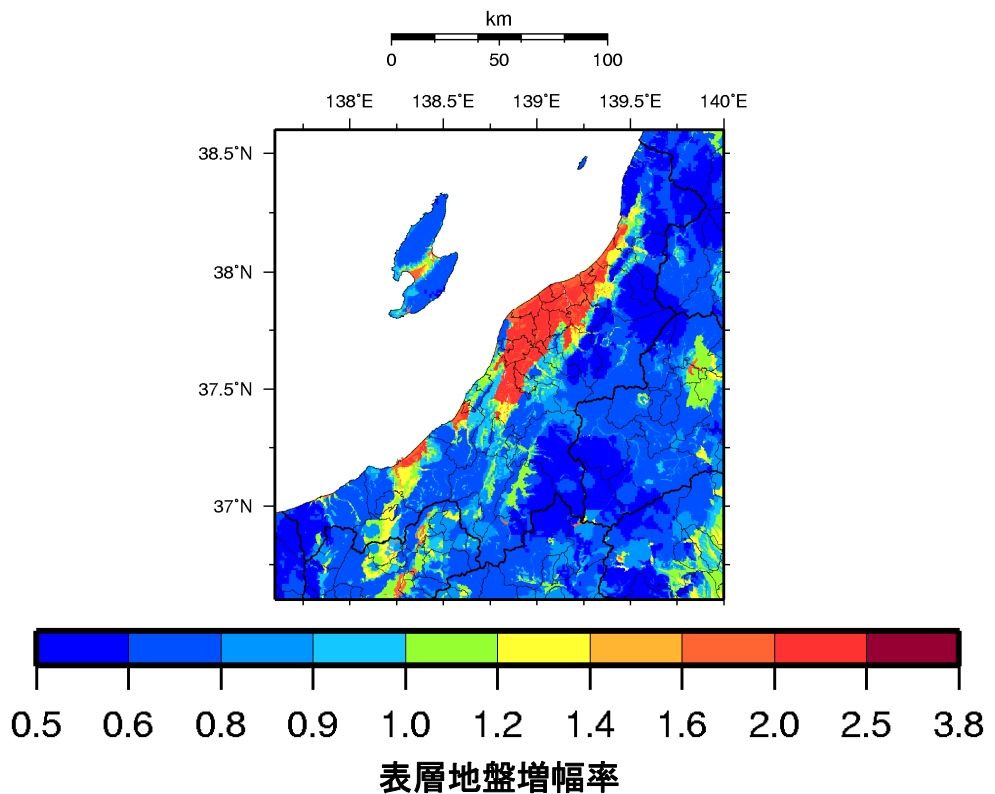
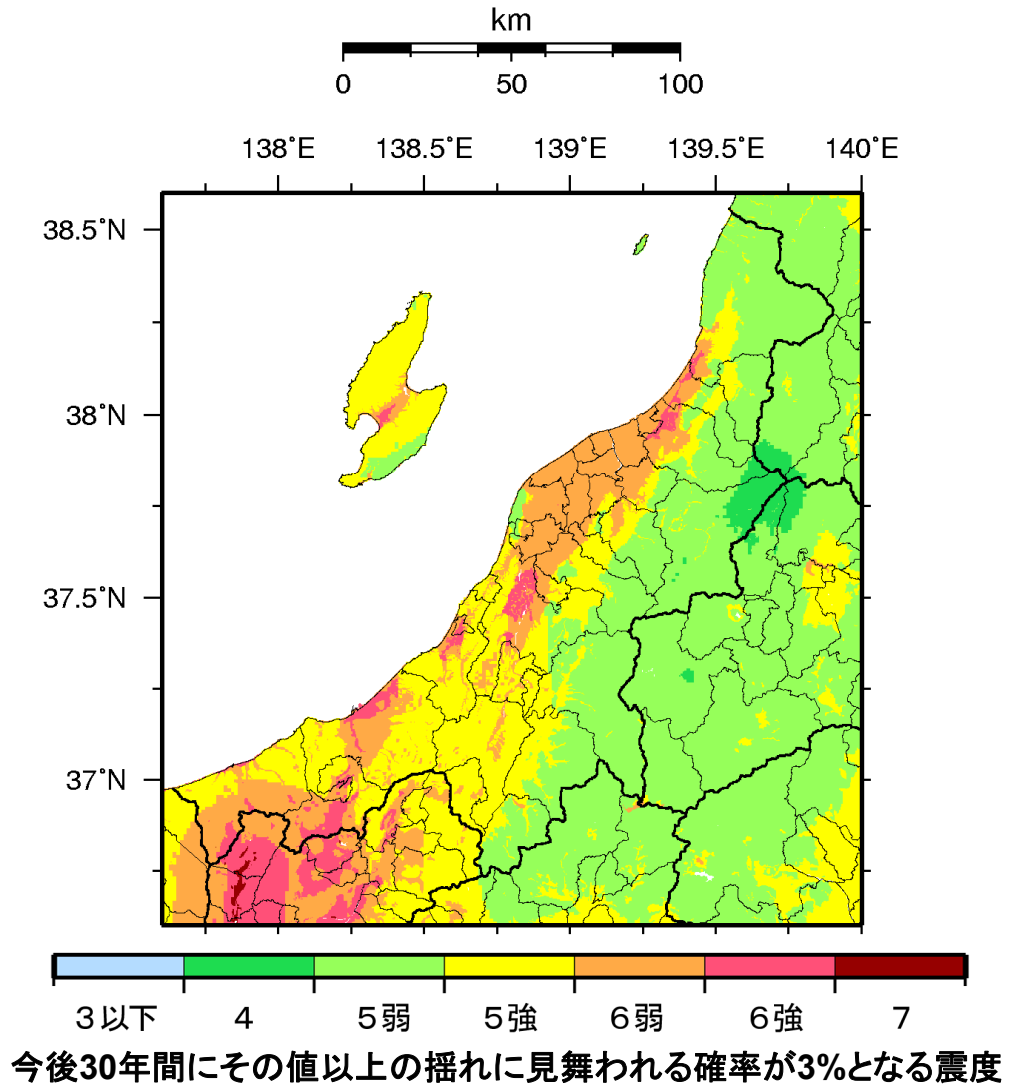
**新潟市役所：高い。**

カテゴリⅢの地震の影響度が支配的です。最も影響度が高いのは活断層が特定されていない場所で発生する地震です。次いで、佐渡島北方沖の地震の影響度が高くなっています。

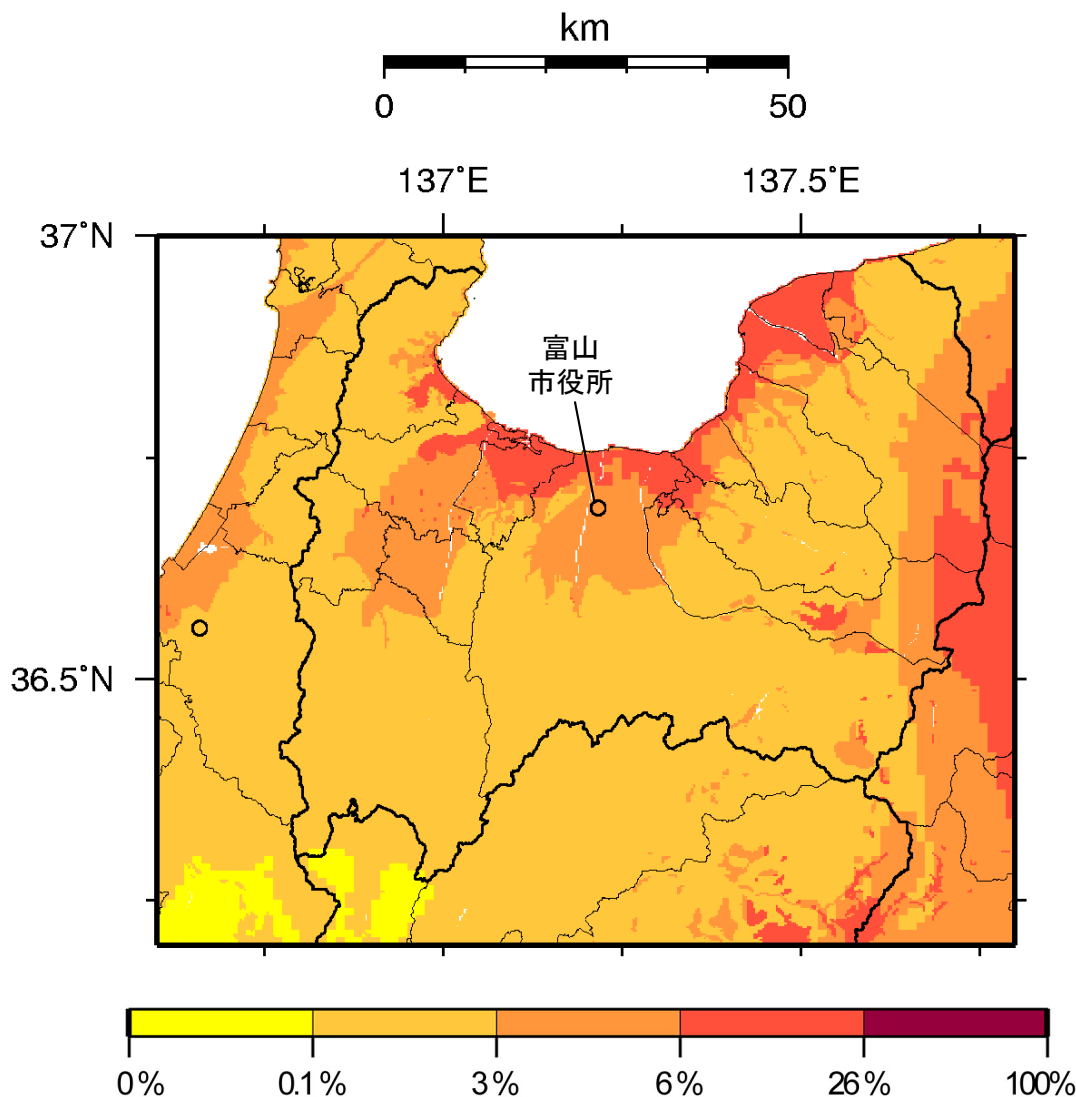


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

新潟市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度



# 富山県



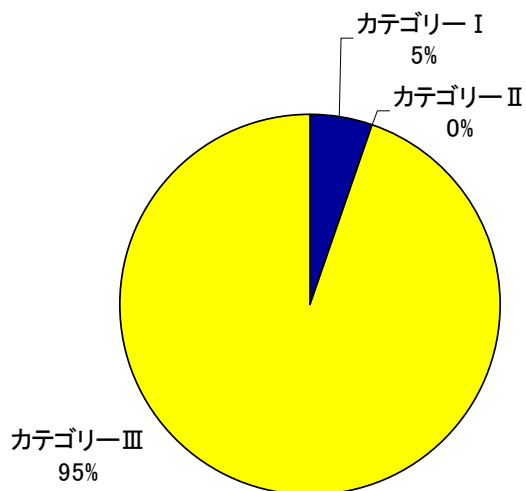
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

東部（飛騨山脈）から南部、西部にかけての山地や丘陵に比べると、それらに囲まれた平野部（富山平野、砺波平野など）や河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

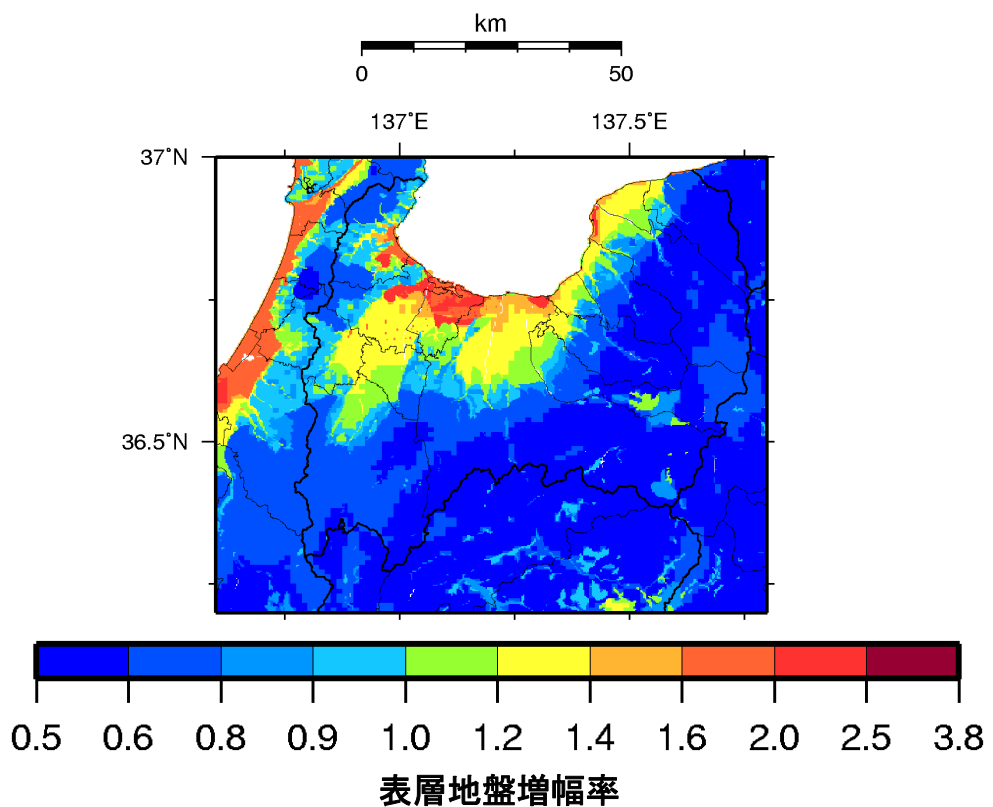
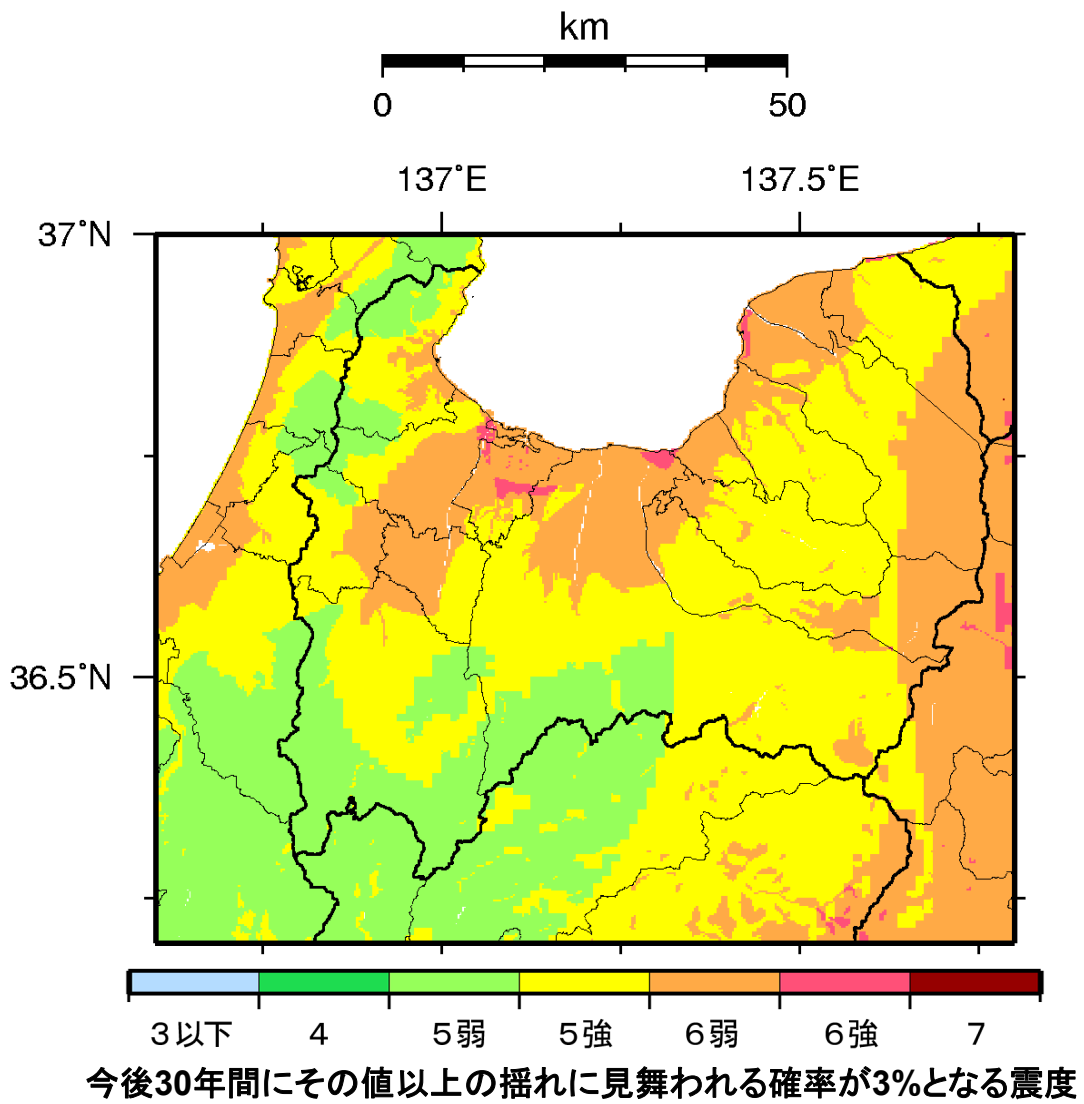
**富山市役所：高い。**

主要活断層帯の地震（カテゴリⅢ）の影響度が最も高くなっています。地震発生確率の高い砺波平野断層帯・呉羽山断層帯や邑知淵断層帯、魚津断層帯の影響が大きいと考えられます。

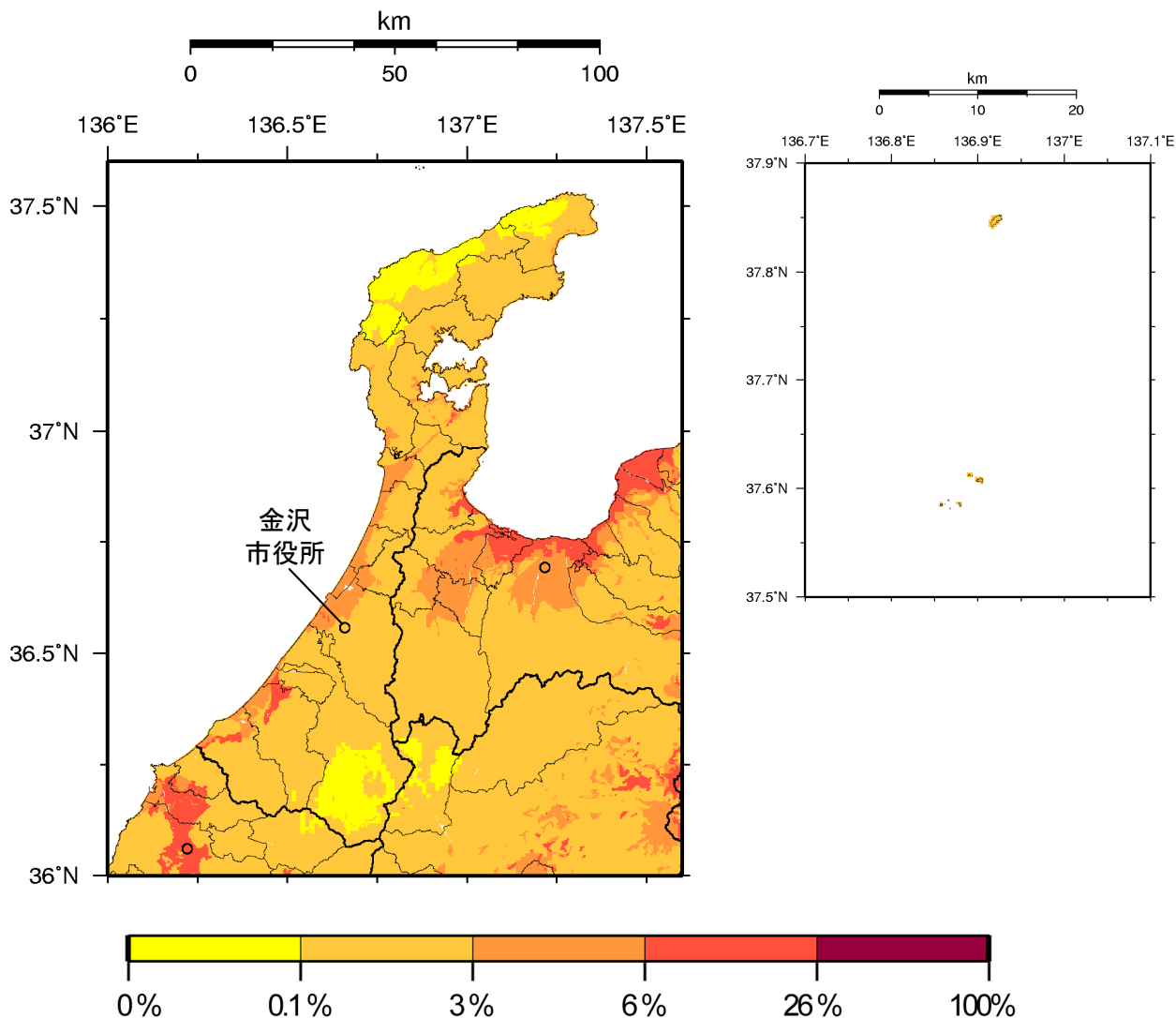


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

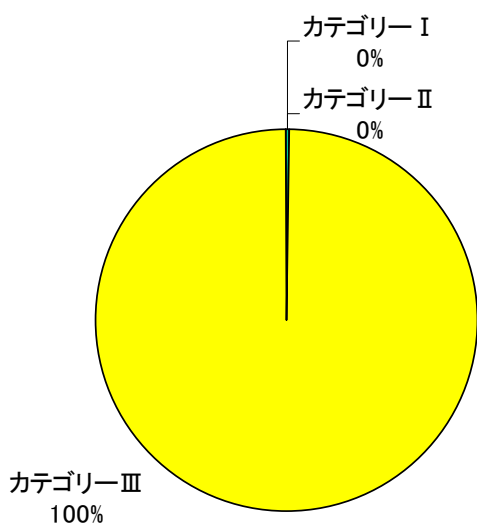
富山市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ一別の影響度



# 石川県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



## 地図概況

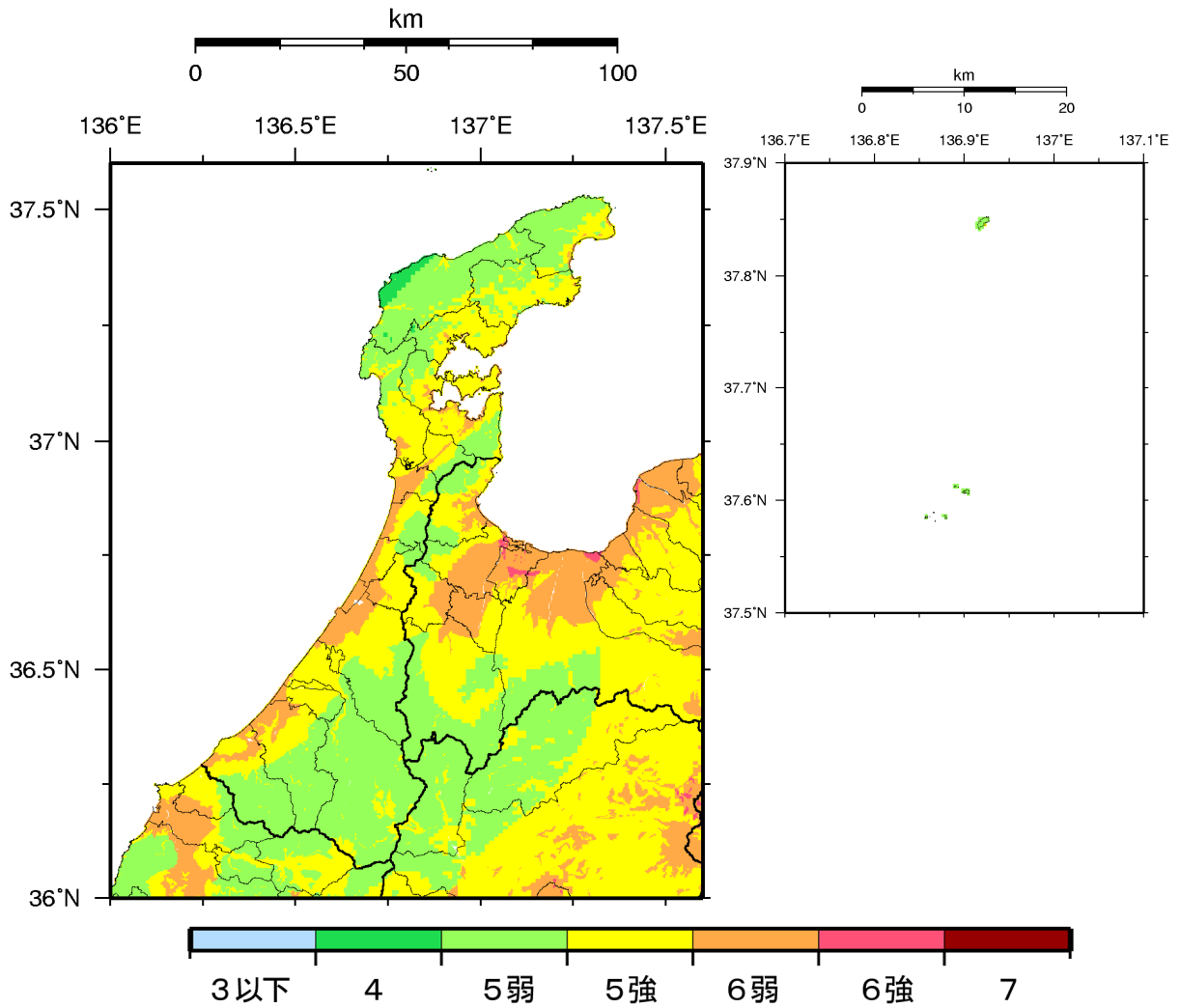
能登半島の丘陵や南部の山地に比べると、金沢平野や能登半島の平野部では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

## 金沢市役所：やや高い。

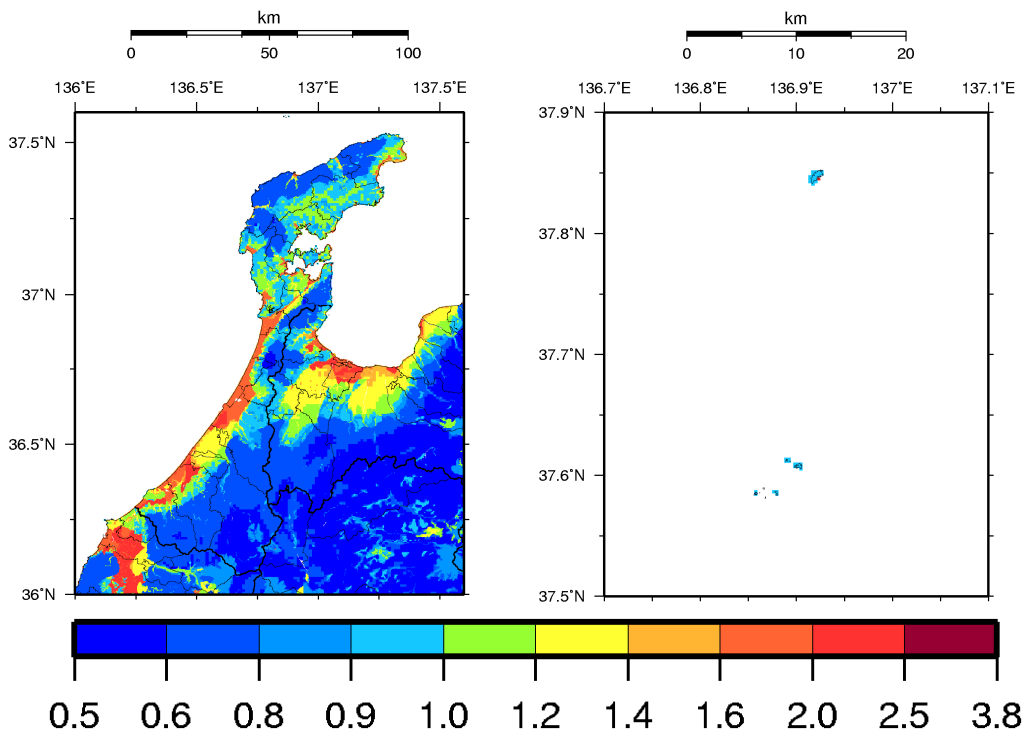
主要活断層帯の地震(カテゴリーⅢ)の影響度が最も高くなっています。これは主に地震発生確率の高い邑知潟断層帯や、森本・富樫断層帯の影響が大きいと考えられます。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

金沢市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度

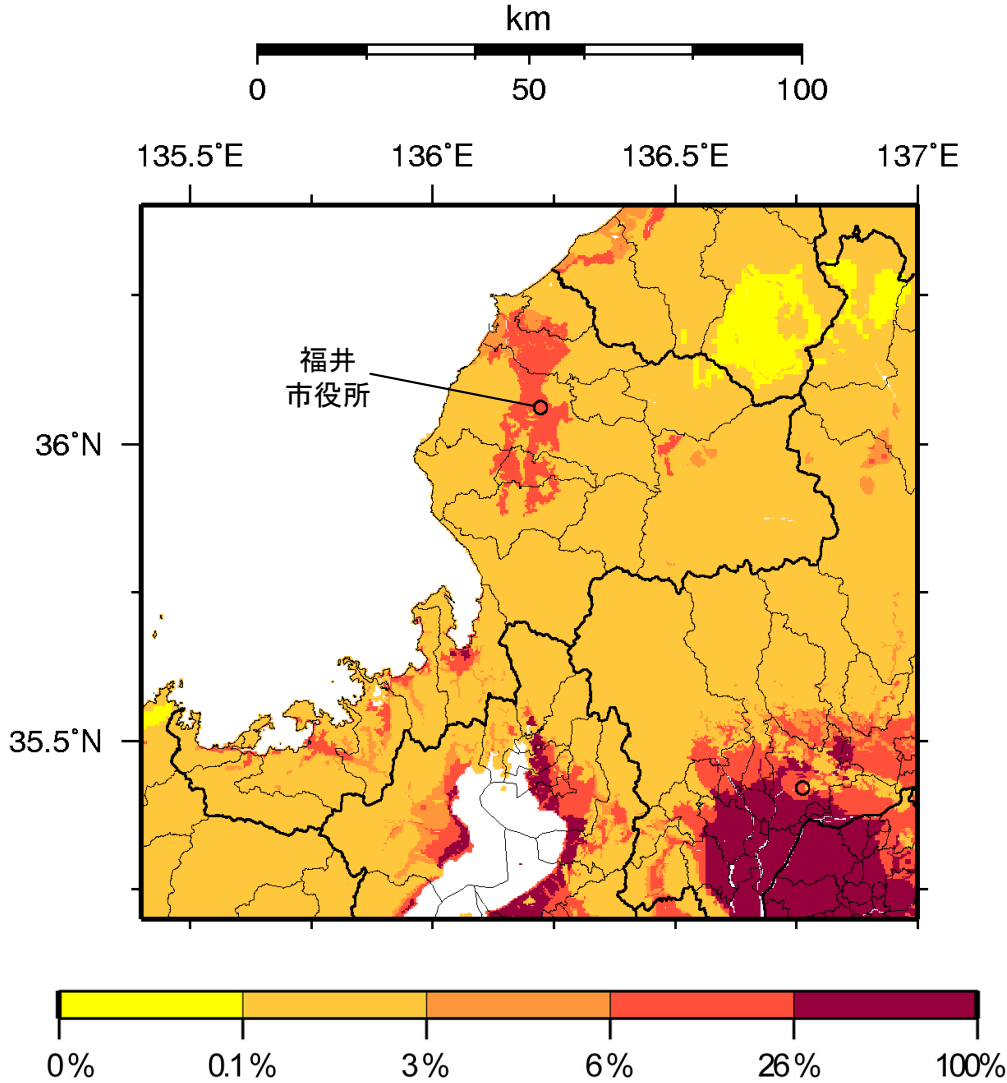


今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



表層地盤増幅率

# 福井県

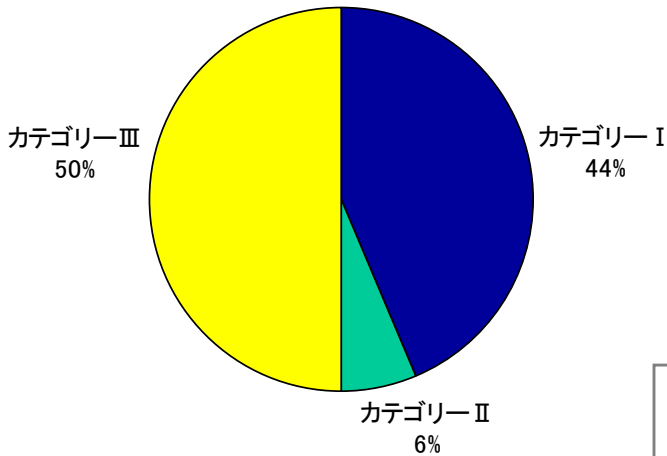


今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

福井平野や日本海沿岸の低地、山間の盆地、河川沿いは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなっています。

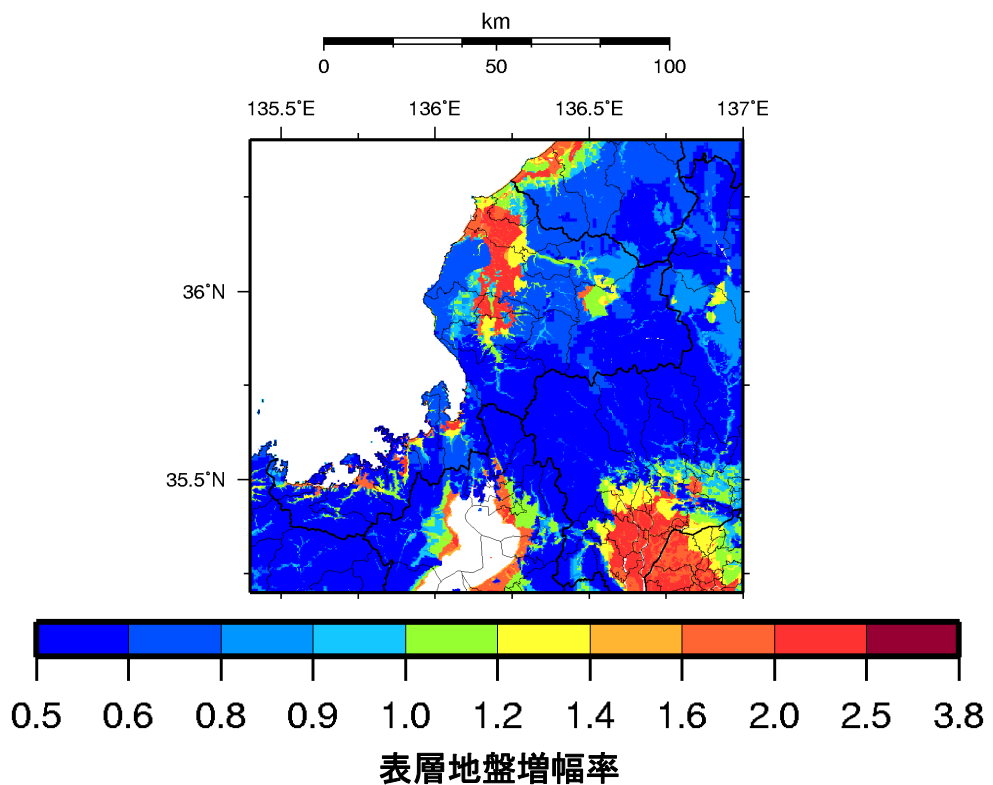
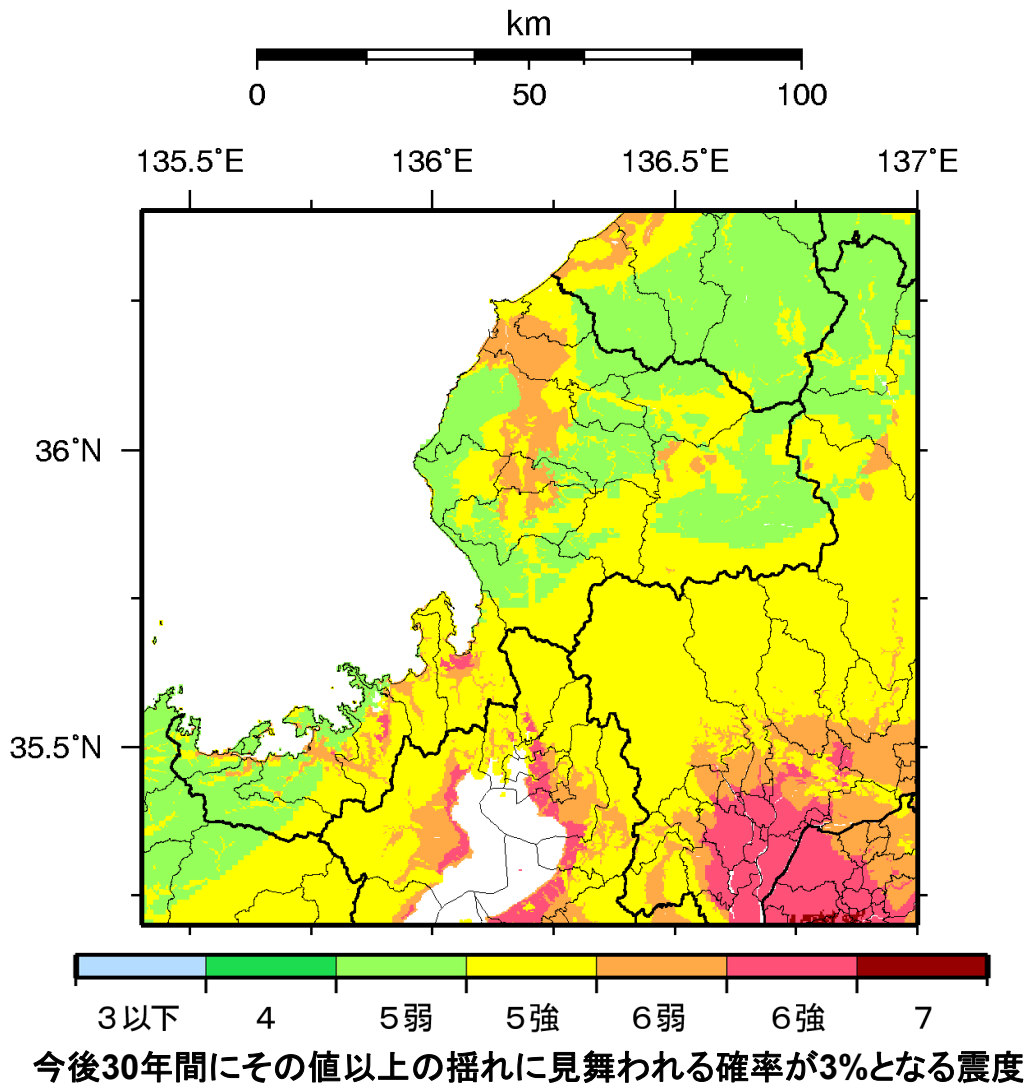
**福井市役所：高い。**



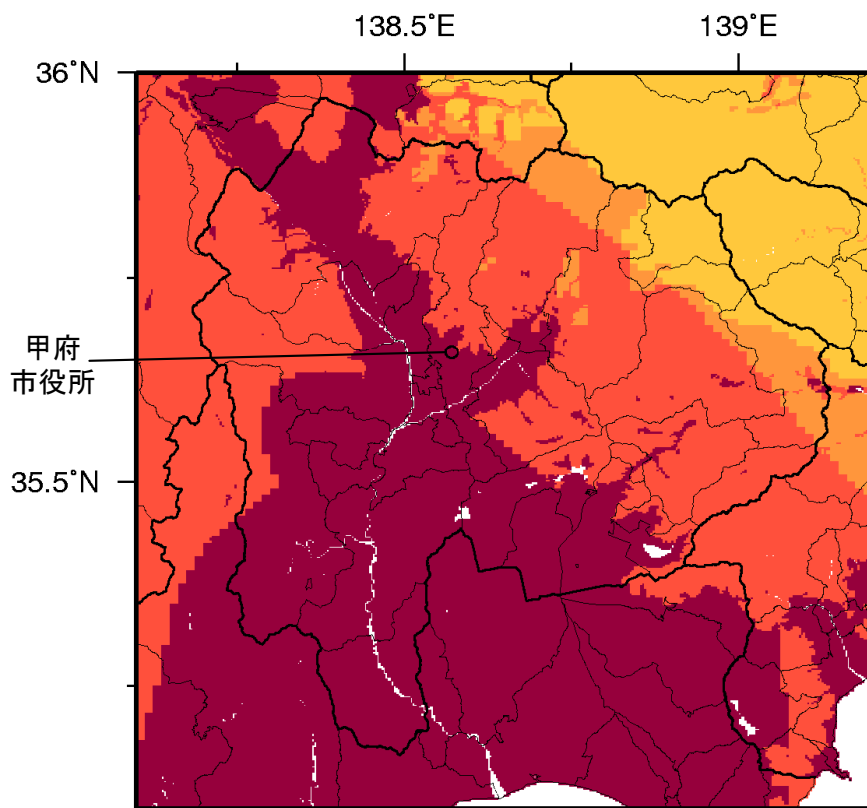
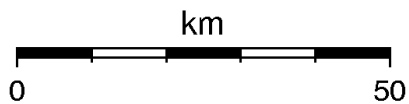
カテゴリー III の地震の影響度が高くなっています。主に、活断層が特定されていない場所で発生する地震によると考えられますが、主要活断層帯である福井平野東縁断層帯主部の地震の影響も見られます。また、南海トラフの地震（カテゴリー I）の影響度も高くなっています。

カテゴリー I：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリー II：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリー III：活断層など陸域と海域の浅い地震

福井市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 山梨県



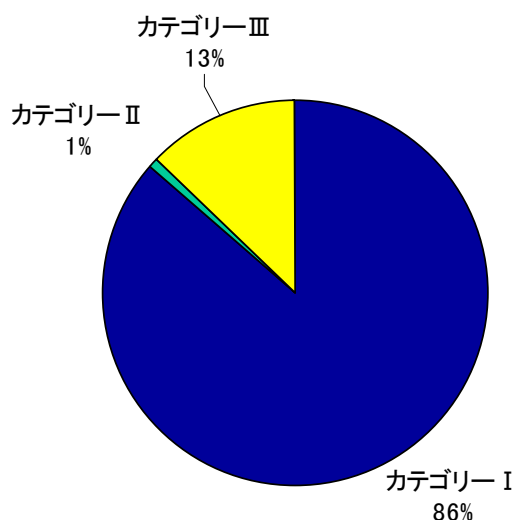
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

南部では南海トラフの地震(カテゴリー I)の影響が強く、また、甲府盆地や河川沿いの低地では、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

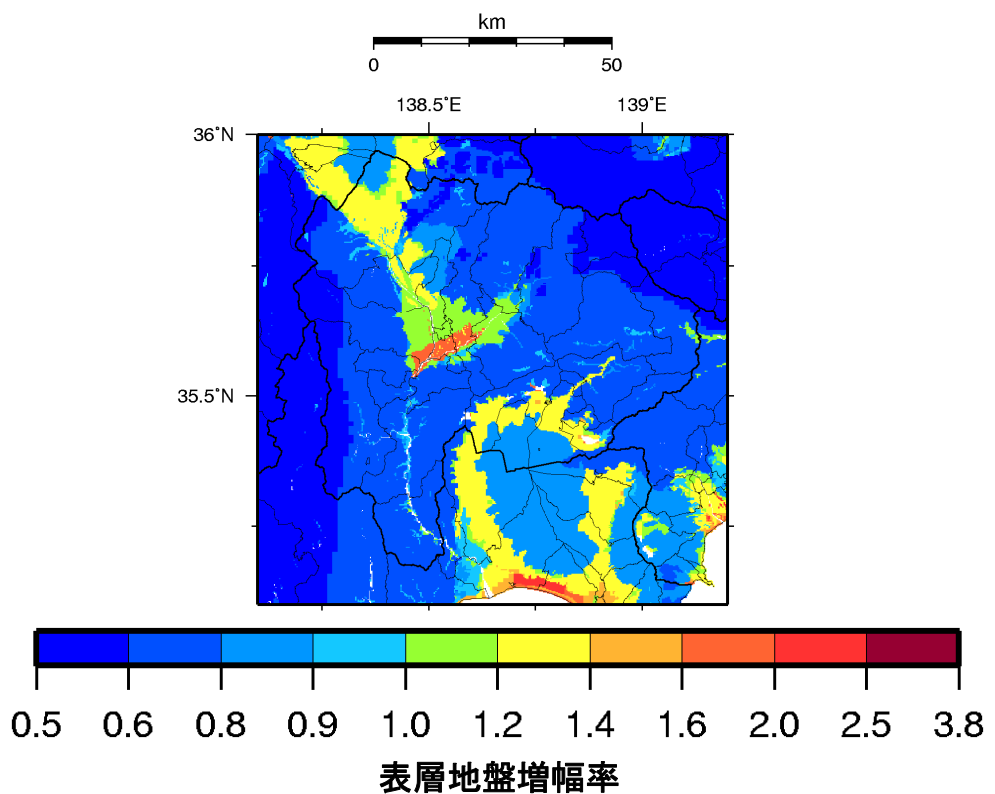
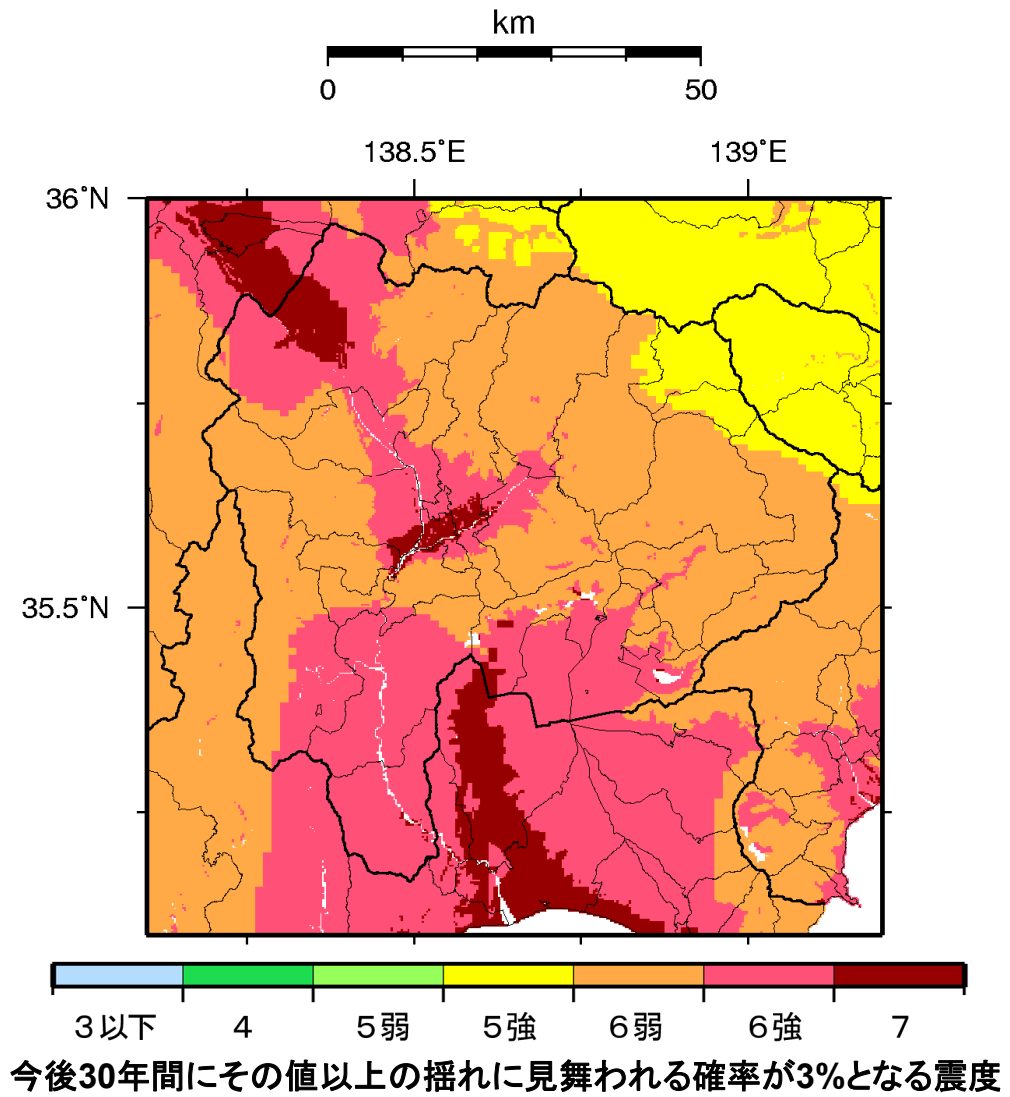
**甲府市役所：高い。**

南海トラフの地震(カテゴリー I)の影響度が最も高く支配的です。主要活断層帯の地震(カテゴリー III)の影響も見られます。糸魚川-静岡構造線断層帯や、曾根丘陵断層帯の影響と考えられます。

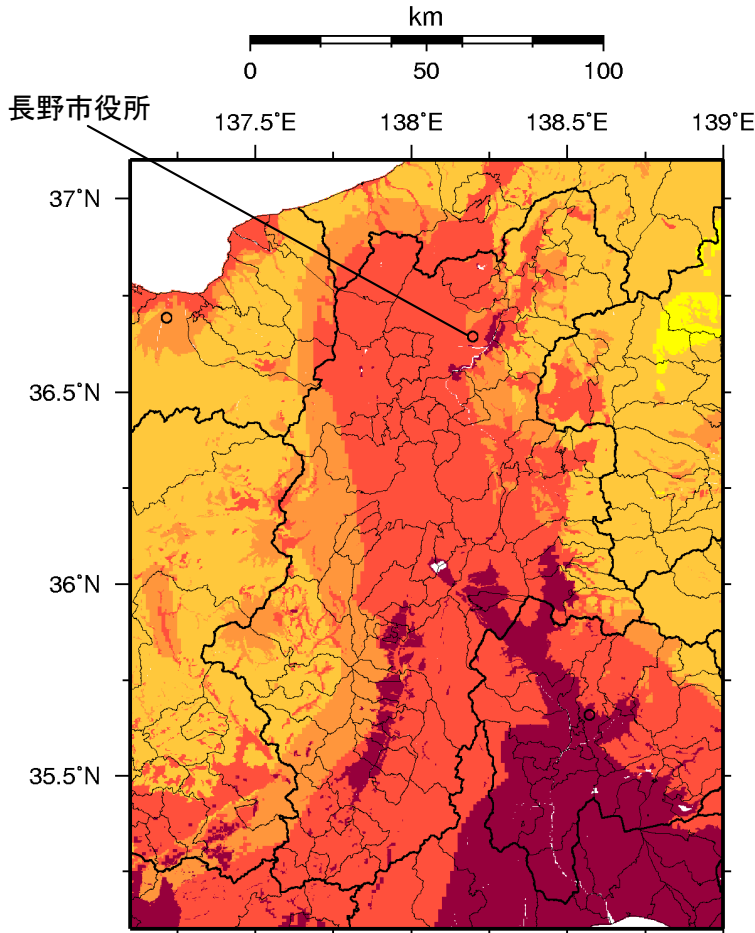


カテゴリー I：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリー II：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリー III：活断層など陸域と海域の浅い地震

甲府市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 長野県



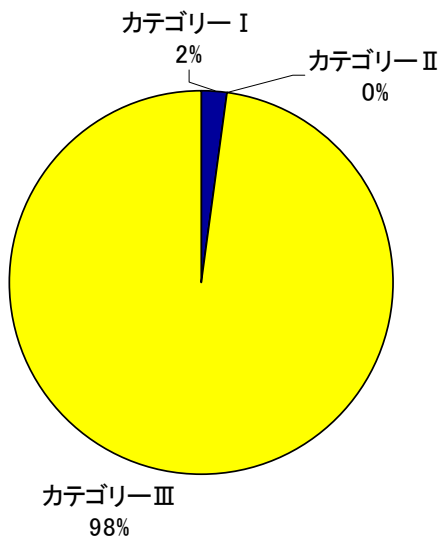
## 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

### 地図概況

山間の盆地（長野盆地、諏訪盆地など）や河川沿いの低地では、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。特に地震発生確率の高い糸魚川－静岡構造線断層帯沿いでは、その傾向が顕著です。また南側ほど、南海トラフの地震（カテゴリーⅠ）の影響が大きくなります。

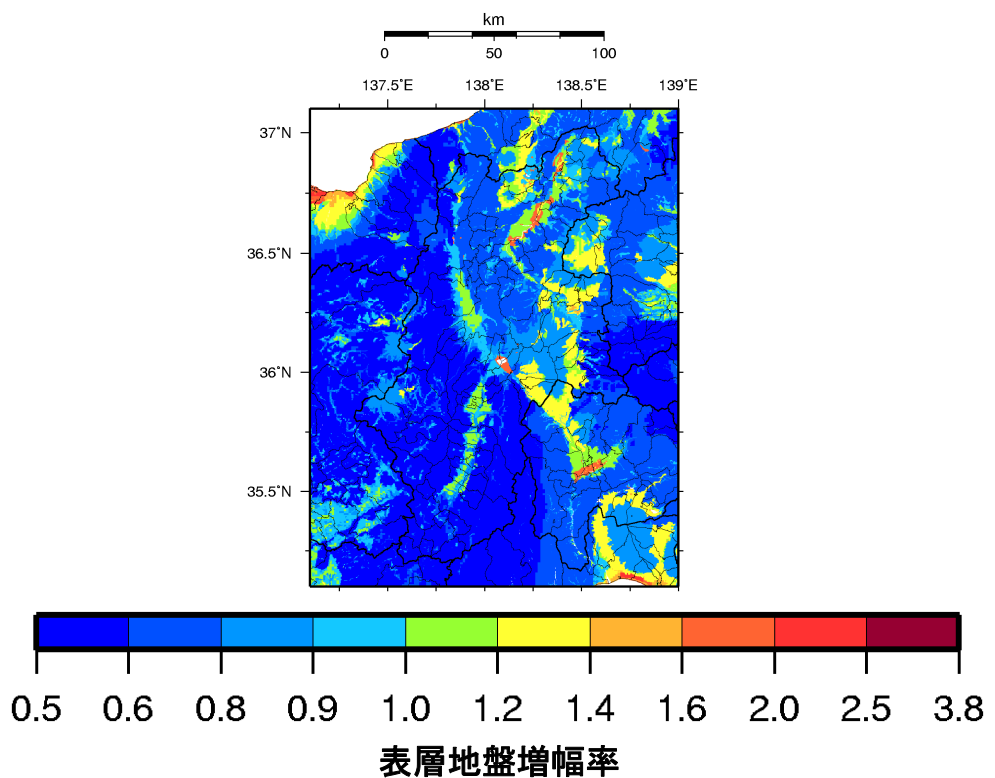
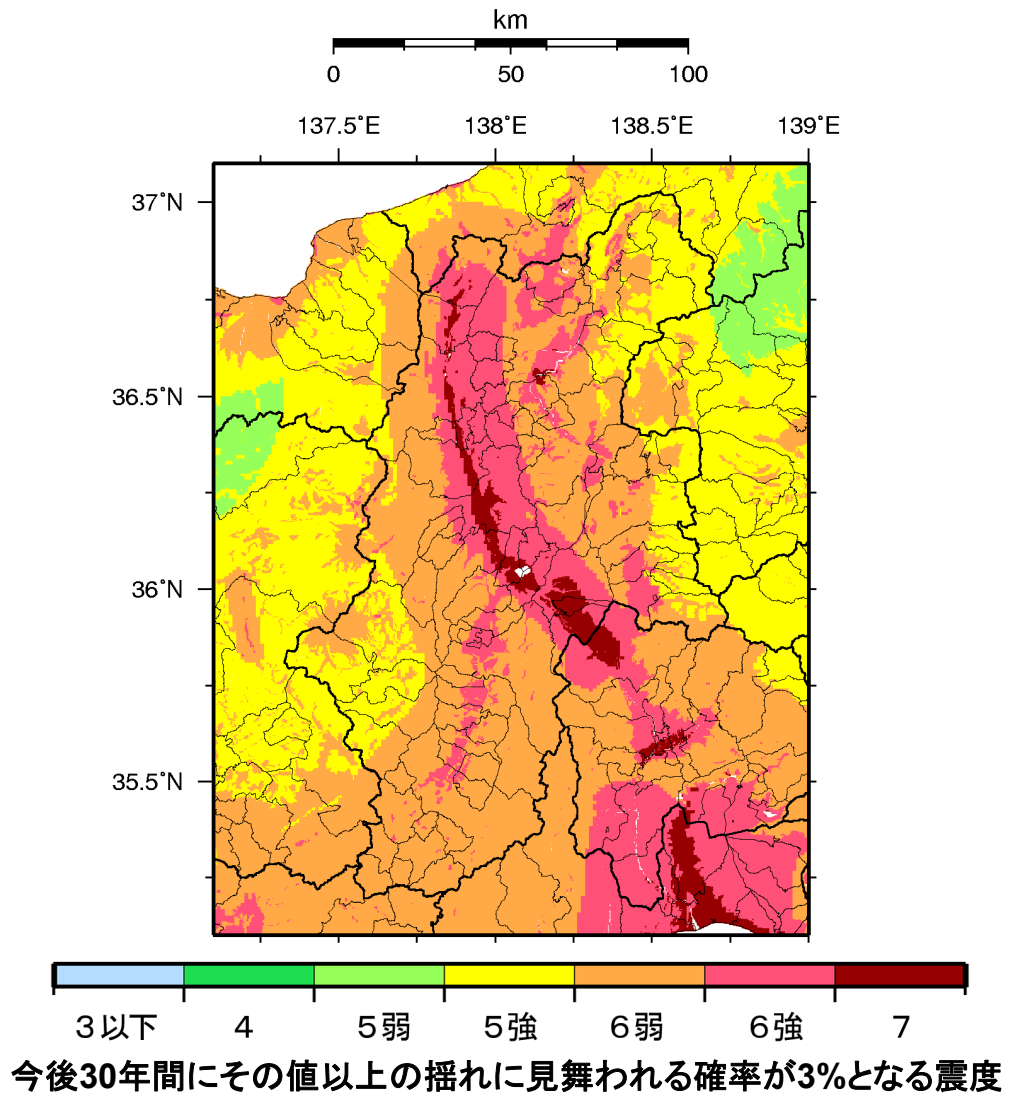
**長野市役所：高い。**

主要活断層帯の地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。これは主に、長野県の中央部を南北に走る、地震発生確率の高い糸魚川－静岡構造線断層帯によるものです。

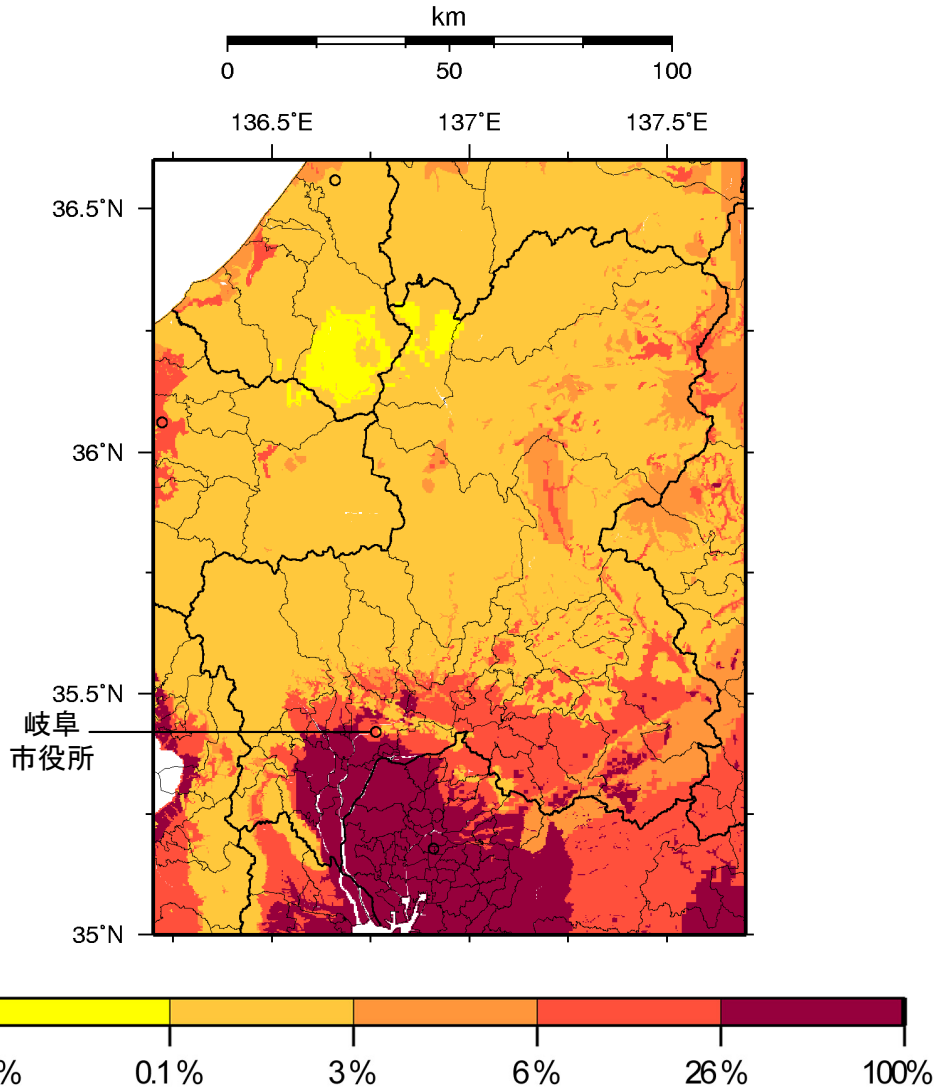


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

## 長野市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 岐阜県



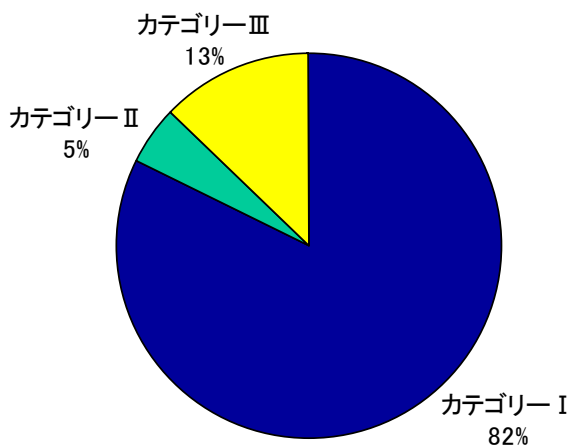
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

南部では、南海トラフの地震(カテゴリーⅠ)の影響が大きくなっています。また、南部の濃尾平野では地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。山間の盆地や河川沿いの低地では、周辺の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きい傾向にあります。

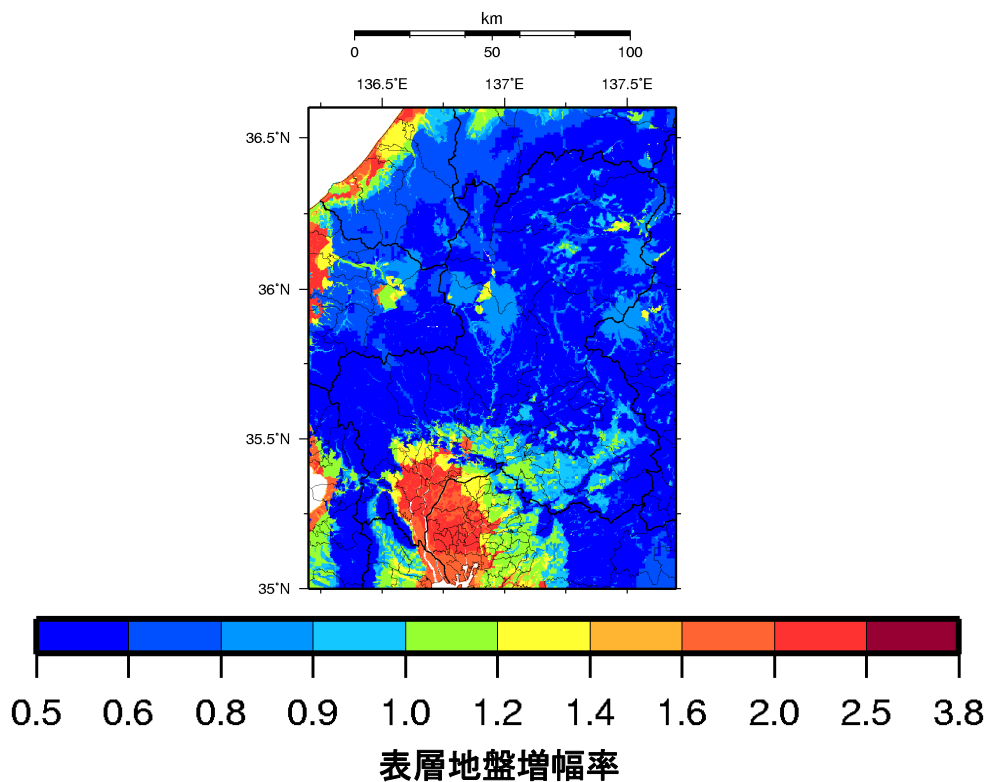
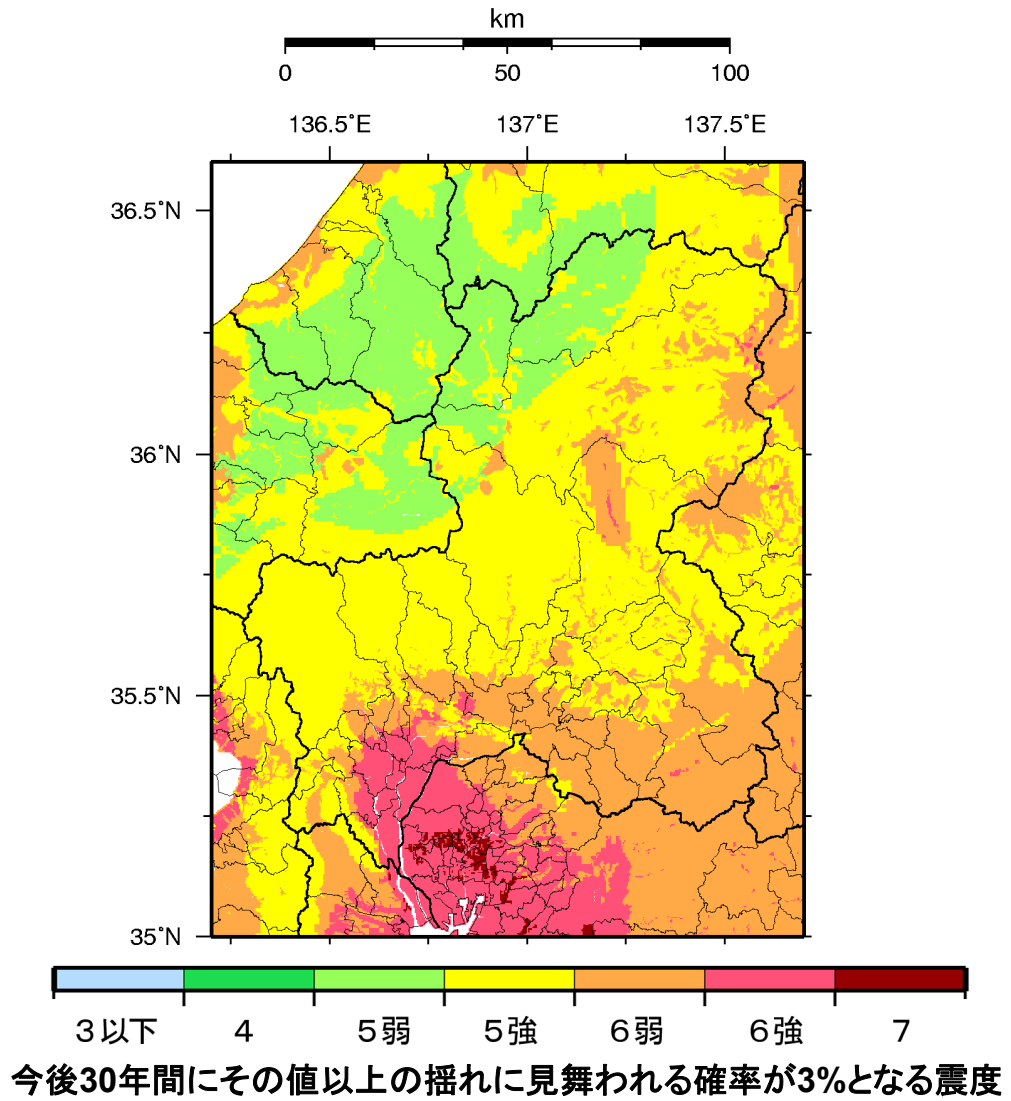
**岐阜市役所：高い。**

南海トラフの地震(カテゴリーⅠ)の震源域に近いため、その影響度が非常に高くなっています。次いで、活断層が特定されていない場所で発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響も見られます。



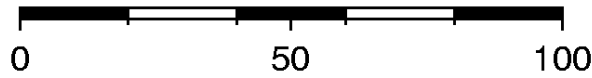
カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

岐阜市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度

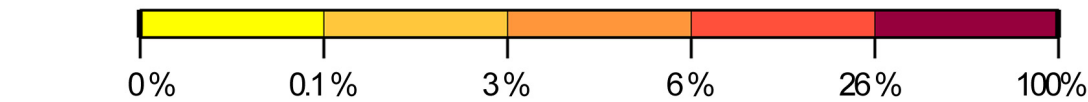
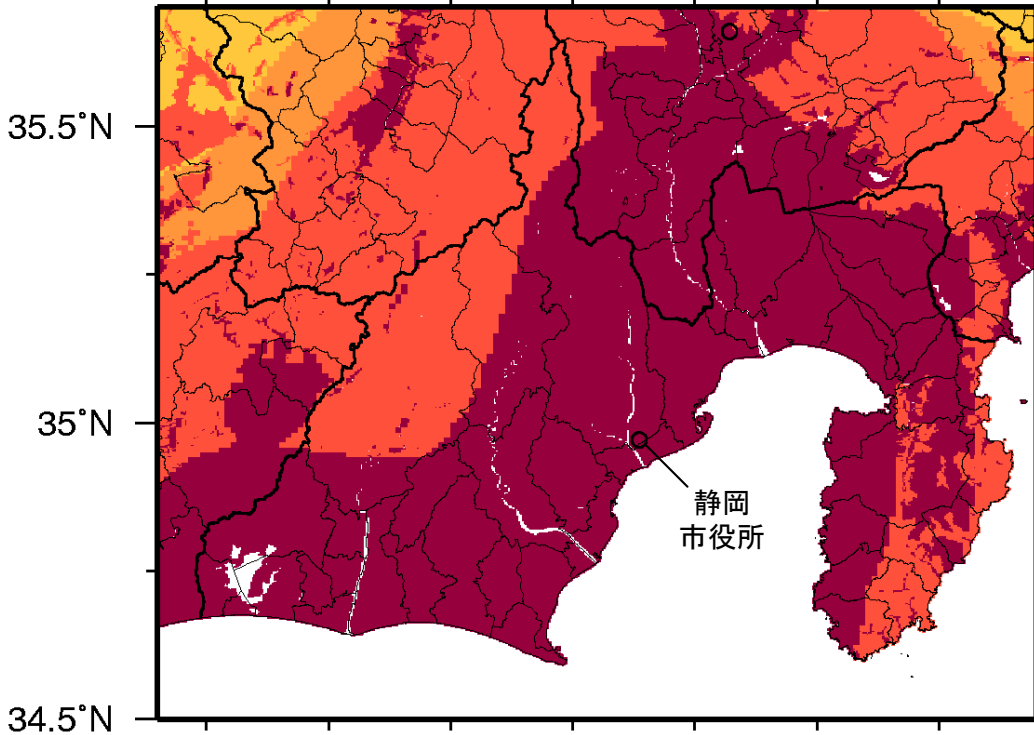


# 静岡県

km



137.5°E 138°E 138.5°E 139°E



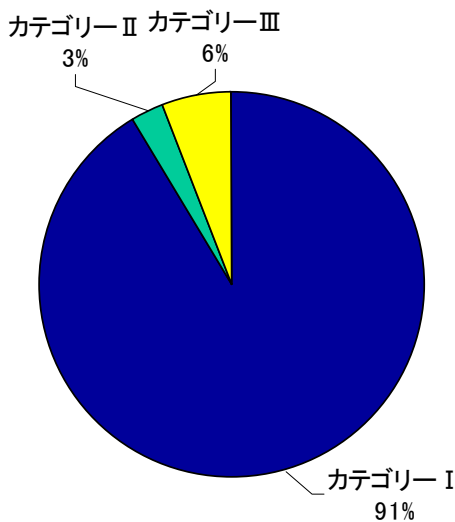
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

南海トラフの地震(カテゴリー I)の影響が圧倒的で、確率や震度は南海トラフからの距離に大きく依存しています。伊豆半島や県の北側の山地、南西部の台地に比べると、海沿いの平野部の地盤増幅率が高くなっています。

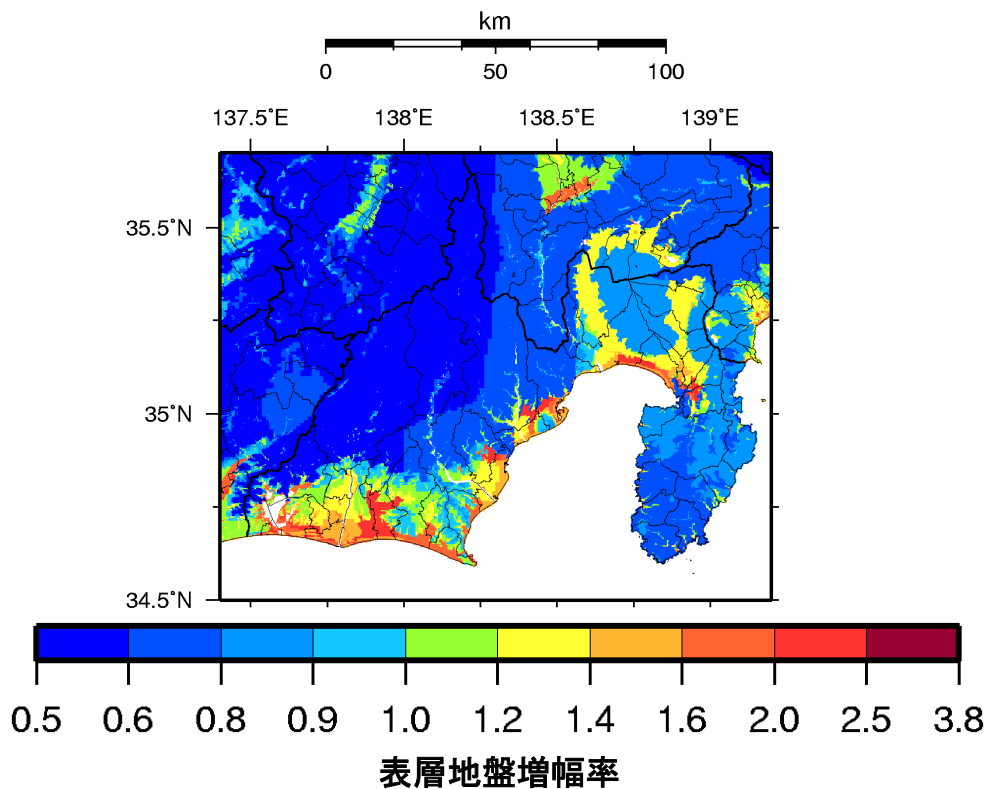
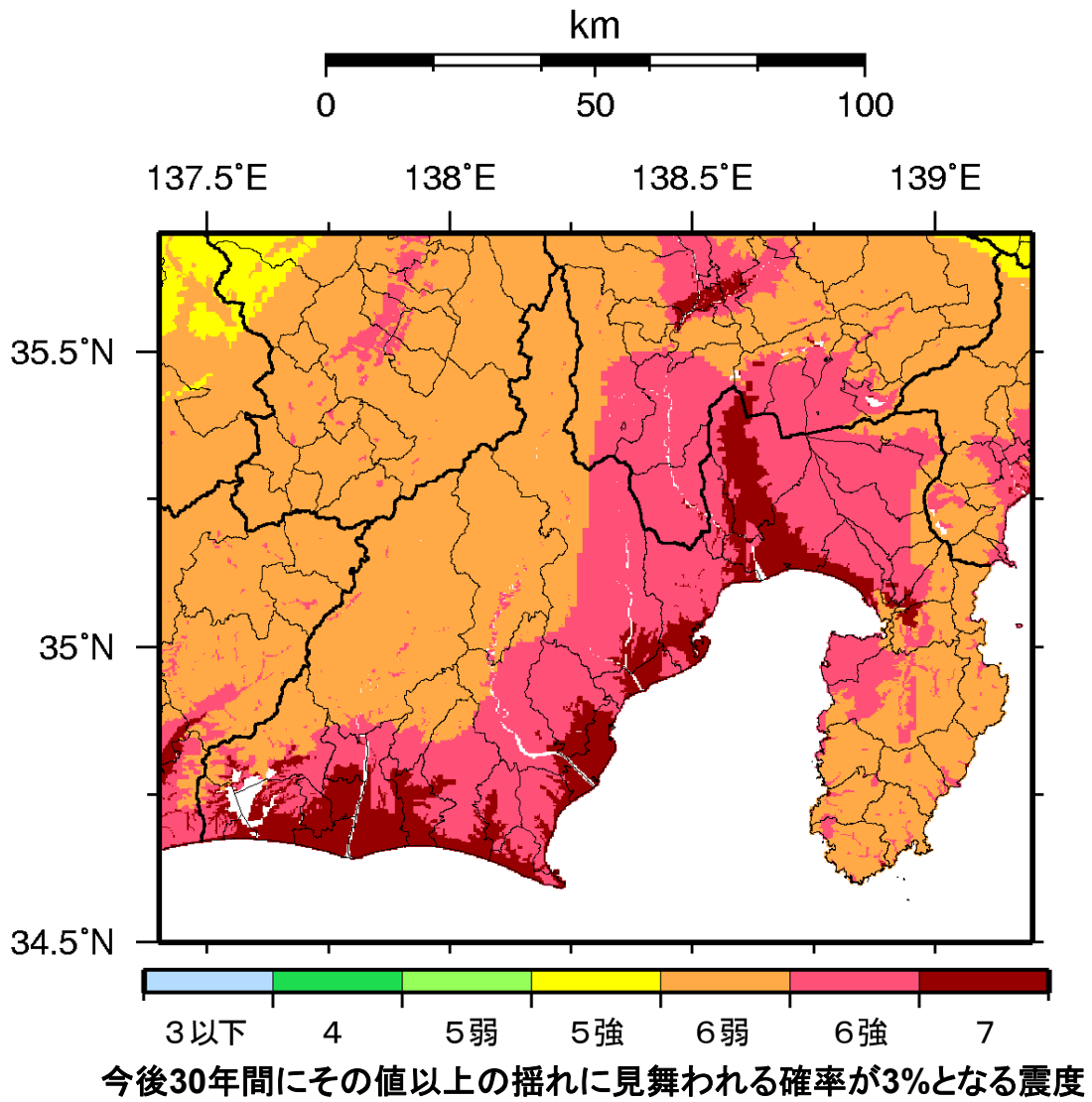
静岡市役所：高い。

南海トラフの地震(カテゴリー I)の震源域に近いため、その影響度が非常に高く支配的です。

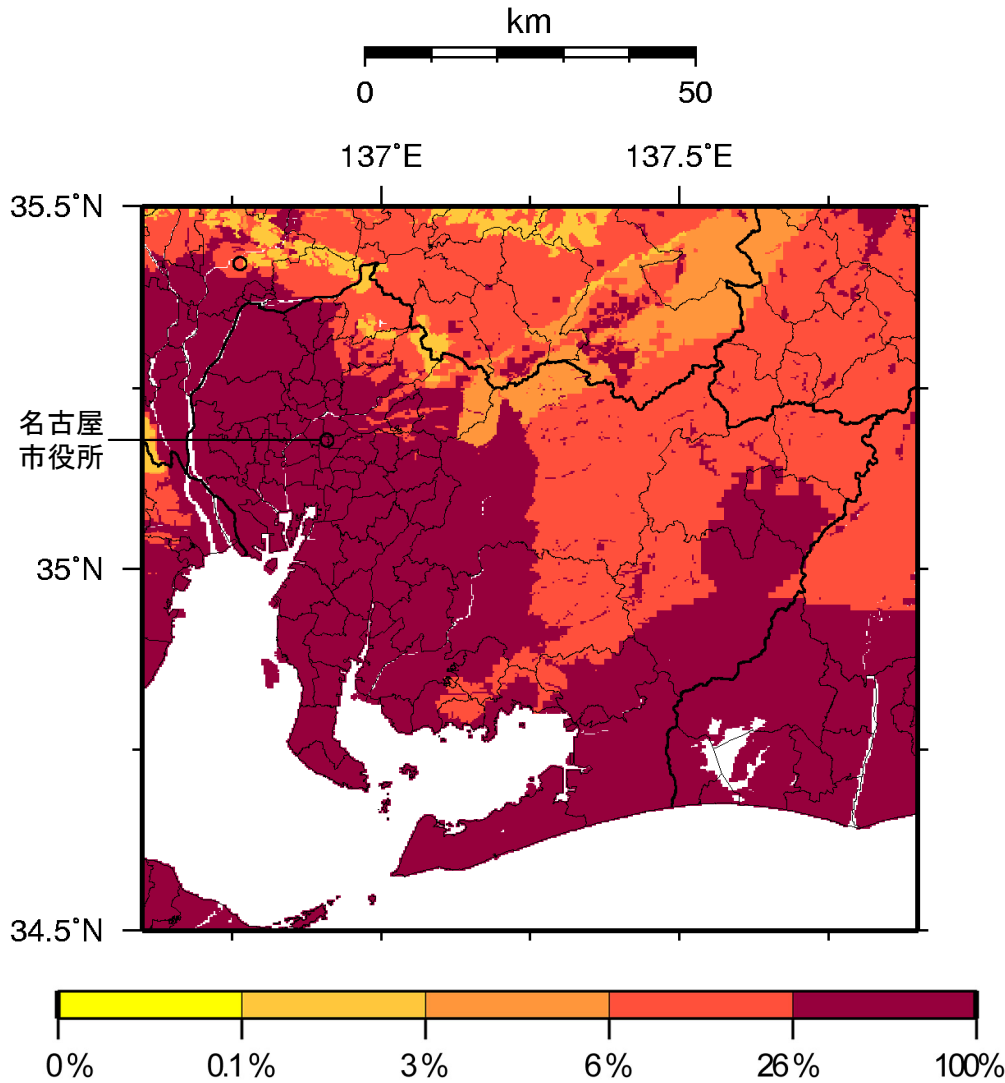


カテゴリー I： 海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリー II： 海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリー III： 活断層など陸域と海域の浅い地震

静岡市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 愛知県



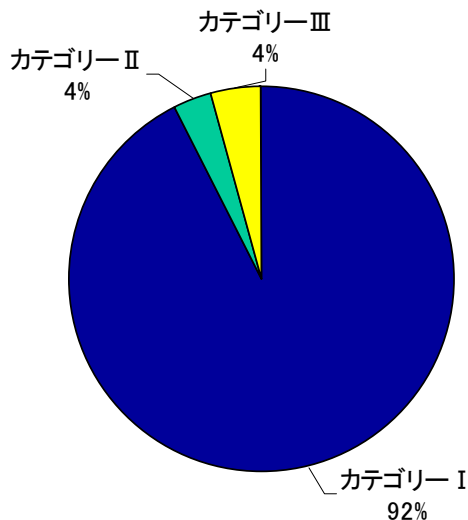
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

北東部の山地や一部の丘陵に比べると、濃尾平野・岡崎平野・豊橋平野などでは地盤増幅率が高くなっています。南部を中心に南海トラフの地震(カテゴリーⅠ)の影響が非常に大きいことや、周辺に活断層が多い地域でもあることから、全体的に確率・震度ともに大きくなっています。

名古屋市役所：高い。

南海トラフの地震(カテゴリーⅠ)の震源域に近いため、その影響度が非常に高く支配的です。



カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

名古屋市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する地震カテゴリー別の影響度

